

# 2016年度宮城厚生協会新入職員辞令交付式

## 88名のフレッシュな仲間とともに



2016年度 辞令交付式

# 厚生協会だより

2016年5月21日  
第 337 号

発行  
公益財団法人  
宮城厚生協会  
〒985-0835  
宮城県多賀城市下馬  
二丁目13番7号  
TEL 022-361-1113  
FAX 022-361-1124  
発行人：横山 公樹

4月1日(金)、坂総合ク  
リニック1号館8階会議室に  
おいて、2016年度宮城厚  
生協会新入職員辞令交付式  
が執り行われました。今年度  
は88名のフレッシュな仲間を  
迎えました。今田隆一理事長  
と新入職員代表の島由衣医師  
のあいさつをご紹介します。

### ■ 理事長あいさつ

(公財) 宮城厚生協会理事長  
今田 隆一

新社会人としてのスタート  
を切ったみなさん、改めてお  
めでとございます。また今  
日の佳き日を迎えられた皆さ  
んのご両親やご家族、ご親戚  
の方々のお慶びはいかばかり  
でしょうか。理事長の私もと  
てもうれしく思います。

さて、みなさんはこの機会  
に初めて社会に出られた方が  
ほとんどだと思います。社会と

いうのは自分だけで成り立つ  
ていないのはもちろんです。  
いろいろな人がいて、いろい  
ろの組織があつてその中でど  
う生きるのか、どう頑張るの  
かが問われる場です。本日か  
らみなさんは公益財団法人宮  
城厚生協会という組織に入ら  
れた。新人の「組織人」とい  
うことになります。

### 組織を上手でイメージ、 個々人の役割・チーム ワーク大切

私は組織のことを考えると  
きにわかりやすく「上肢」を  
イメージします。「上肢」と  
いうのは肩から先、手までを  
言います。肩は方向付けをし  
ます。まるで組織の幹部の役  
割のようです。肩は体の中で  
もっとも動かす範囲(「可動  
域」といいます)の広い関節  
で、肩関節を中心に半球状の  
範囲を動かすことができます  
ます。組織の幹部はその組織の  
方向付けを行ないます。ひじ  
は中間管理職です。「力こぶ」  
という言葉がある通り、上肢  
の中でもっともパワフルな  
関節です。しかし可動域は曲  
げる・伸ばす他、右左に捻じ

るといふ比較的単純な範囲で  
す。

肝心なのは手です。手を構  
成している骨(手根骨、中手  
骨、指骨)、それについてい  
る筋群、関節の一つ一つは小  
さく、弱く、可動域も限られ  
ているのですが、全てが揃つ  
て、統一された動きを作る瞬  
間から体の中で最も微細な細  
かい動作・運動が可能となり  
ます。まるでチームワークに  
支えられた現場のようです。  
ここでは何一つ、欠けてもこ  
うした動きに支障が出ます。  
みなさんは明日から手を構成  
する要素のひとつとして現場  
に入るようになります。

上肢の3つの構成要素であ  
る肩・ひじ・手を情報でつな  
ぐ役割が神経です。また人  
物・金の補給路が血管系の役  
割です。血管系はそのほか、  
組織の温度管理もしていま  
す。

組織を上手でイメージする  
とき、個々人の役割発揮を前  
提にしたチームワークの大切  
さを理解できると思います。  
そうです。一人として役割の  
ない職員はいません。



祝辞を述べる今田理事長

### 4つの期待すること

さて皆さんに期待するところをさらに申し上げましょう。

一つ目は「仲間を大切に」ということです。人生は山あり、谷もあります。そのとき本当に頼りになるのは「仲間」です。本日、同期入職という縁をもらった仲間を大切にしてください。

二つ目は「日々の努力を積み重ねる」ことの大切さを心

してほしいということですが、日々の努力は決してみなさんを裏切らないでしょう。

三つ目は「好奇心」です。なにことにも好奇心をもってチャレンジしてください。

四つ目は「生活者の視点」です。これはとくに専門職の方々に心してほしいことです。ときには視点を変えてみてください。

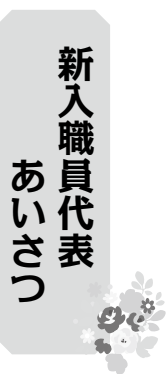
### 宮城厚生協会の成長の鍵は皆さんに

世の中は高度高齢社会とあって、認知症はじめ障害老人だらけといった間違ったイメージにとらわれていきます。私も高齢者の入り口に立つてはいますが、自立した生活をこれから送っていきたく考えています。しかし、未来を描く責任と権利はみなさんのような若い人たちに

あるのは間違いがありません。

私たち宮城厚生協会も組織としての曲がり角にきている、と指摘する声もあります。

これからの宮城厚生協会の成長の鍵は皆さんにあります。先輩たちとともに頑張ってください。たくさんのご期待をこめてあいさつとします。



あいさつする島由衣医師

初心を忘れず、患者様と向き合えるよう、精一杯努力します

医師 島 由衣

本日は、私たちのためにこ

のような式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入職員を代表いたしまして心よりお礼を申し上げます。

先ほど、理事長の今田先生より、期待と励ましのお言葉をいただきました。大変、身の引き締まる思いです。

私が生まれ育った町では、病院や医師の数が不足しており、家族が急病の時も診察を受けるまでに何時間もかかっていました。

幼い頃から漠然と抱いていた医師という職業へのあこがれが、こういった経験から一人でも多くに人が安心して日々を過ごせるように、地域に貢献したいという目標へと変わっていったのだと思います。

東日本大震災から5年が経ち、各地で復興が進む今、私たちの世代が地域を支えていくのだという思いが一層強くなりました。

私たちは、病や痛みを抱えた人々の力になるべく、今日こうして医療者としてのスタートラインに立つことができ

ました。各々が初心を忘れずに、他者への感謝と思いやり、そして、正確な知識と技術を合わせ持つ医療者になることをここに誓います。

一日も早く一人前の医療者として、患者様に向き合うことができるよう、精一杯努力していく所存です。

ご迷惑をおかけする事もあられるかと思いますが、ご指導ご鞭撻下さいますよう、お願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、新入職員を代表しての感謝と決意の言葉とさせていただきます。









